

17. 自己資本の状況

○ 自己資本比率の状況

当組合では、多様化するリスクに対応するとともに組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の最重要課題として取り組んでいます。

令和元年度はマイナス金利の影響による厳しい経営環境の中、内部留保に努めるとともに、不良債権処理・発生防止及び業務の効率化等に取り組んだ結果、令和元年度における自己資本比率は、11.13%となりました。